

やちよ男女共同参画プラン第1期実施計画

平成26年度進捗状況報告書（対25年度実績）

八千代市生涯学習部男女共同参画課

— 目 次 —

1 やちよ男女共同参画プラン実施計画に基づく進捗状況報告

(1) 概要.....	1
(2) 具体的な取組の進捗状況.....	1
主要課題Ⅰ 等しく認めあう — 男女共同参画の意識づくり — (51事業)	1
主要課題Ⅱ 共につくりだす — あらゆる場への男女共同参画 — (42事業)	3
主要課題Ⅲ 自分らしく生きる — ワーク・ライフ・バランスの推進 — (50事業)	5
主要課題Ⅳ 健やかに暮らす — いきいきと暮らすための健康と福祉の増進 — (77事業)	6
主要課題Ⅴ みんなで推進する — 推進体制の整備と協働の推進 — (15事業)	8
主要課題Ⅰ～Ⅴ (235事業)	9
(3) 指標の進捗状況.....	9
(4) 今後の取組.....	10

2 審議会等における女性委員・公募委員の登用状況報告

(1) 目的.....	10
(2) 目標.....	10
(3) 審議会等数・委員数(平成26年4月1日現在)	10
(4) 登用状況及び今後の見解.....	11

【資料】

1 やちよ男女共同参画プラン第1期実施計画 進捗状況集計.....	13
2 やちよ男女共同参画プラン第1期実施計画 進捗状況一覧.....	15
3 やちよ男女共同参画プラン第1期実施計画 指標一覧.....	45
4 八千代市審議会等における女性委員及び公募委員 登用状況集計.....	47
5 八千代市審議会等における女性委員及び公募委員 登用状況一覧.....	49

1 やちよ男女共同参画プラン実施計画に基づく進捗状況報告

〔資料〕 資料1 やちよ男女共同参画プラン第1期実施計画 進捗状況集計
 資料2 やちよ男女共同参画プラン第1期実施計画 進捗状況一覧

(1) 概要

本報告書は、平成23年度から平成27年度までを計画期間とする、やちよ男女共同参画プラン第1期実施計画に掲げる取組について、各事業の所管課に対し、平成25年度における進捗状況を調査した結果を取りまとめたものである。

平成25年度は235事業について調査を行ったが、当該調査では、やちよ男女共同参画プランの基本計画に掲げる5つの主要課題に沿った形で事業が実施されているか、また、事業の実施により男女共同参画社会の形成に資するような成果が得られたか等の観点から、各事業の所管課において進捗度の評価を行っている。更に、調査結果に基づき、男女共同参画課による評価を加えている。

(2) 具体的な取組の進捗状況

主要課題Ⅰ 等しく認めあう — 男女共同参画の意識づくり — (51事業)

女性と男性が、家庭・地域・職場・学校などのあらゆる場面において、互いに等しく認めあう男女平等の意識づくりを進める。

担当課評価

評価 年度	1 進んだ		2 現状維持		3 まったく進んでいない (後退した)		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	26	51.0%	25	49.0%	0	0.0%	51	100%
24年度	23	44.2%	28	53.9%	1	1.9%	52	100%
25年度	26	51.0%	25	49.0%	0	0.0%	51	100%

男女共同参画課による評価

評価 年度	A 積極的な推進が 見られた		B 現状維持 (具体的な 取組を行った)		C 取り組み方が十分 でない		D・E・F 未実施・休止・ 廃止		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	30	58.8%	21	41.2%	0	0.0%	0	0.0%	51	100%
24年度	23	44.2%	29	55.8%	0	0.0%	0	0.0%	52	100%
25年度	26	51.0%	25	49.0%	0	0.0%	0	0.0%	51	100%

① 固定的な意識の是正

(ア) 目的

- ・「男性だから」「女性だから」ということで、生き方の選択の幅が狭められることのない社会をつくるため、男女平等意識の推進を図る。
- ・一人一人が個性と能力を最大限に発揮して生きられるよう、人権及び人格を尊重する意識の浸

透を促進する。

- ・性別による役割分担意識の是正のための調査及び研究をし、課題の把握と解決に取り組む。また、男女共同参画の推進に向け、情報を市民に提供する。

(イ) 主な事業の実績

男女平等に関する啓発活動の推進（事業番号 2◆2）

全国で実施される男女共同参画社会づくりの啓発事業の一環として、千葉県男女共同参画センター、千葉県男女共同参画地域推進員（葛南地区）、八千代台東南公共センター、八千代台東南公民館と共催で、「“好き”を仕事にする～あなたの『なりたい!』を応援するセミナー～」を開催した。地元出身の講師による講演会や、起業に役立つ19のワークショップ等を行い、起業することの楽しさや成功の秘訣などを伝え、性別を問わず好きなことや得意なことを仕事に結び付けて起業することを考える機会を多くの参加者に提供した。

男女共同参画に関する情報提供（事業番号 8）

市内事業所における雇用環境や均等待遇に関する取組状況を把握するため、八千代商工会議所の会員事業所を対象に調査を実施した。また、調査結果をまとめた報告書を図書館等に配架及び市HPに掲載し、市民への情報提供を行った。

② 男女の人権擁護

(ア) 目的

- ・ドメスティックバイオレンス（DV）が人権侵害であることについての意識啓発を行い、相談体制の充実を図る。
- ・セクシュアルハラスメント防止の意識啓発を行い、相談体制の充実を図る。

(イ) 主な事業の実績

市内事業所や市役所等の職場への意識啓発と相談体制の充実（事業番号 11◆1）

市職員を対象に「職場のハラスメントに関するアンケート調査」を実施した。1,358件の回答のうち、「セクシュアルハラスメントを受けたことがある」との回答が17件あったが、窓口での相談は1件も無く、「相談はせず、我慢した」との回答が多く見られた。相談しやすい体制づくりが課題となっており、今後も意識啓発や窓口の周知を継続的に行う。

③ 男女共同参画の視点に立った教育の推進

(ア) 目的

- ・固定的な性別役割にとらわれずに個人の能力や適性を生かすことのできる男女平等の視点に立った保育及び教育を推進し、男女平等の意識の啓発を行うとともに、それぞれ自立した生活ができる能力を身につける。
- ・家庭や地域、職場などのあらゆる場において、男女平等の社会的風土を醸成し、生涯にわたり男女平等の視点に立った教育を進める。

(イ) 主な事業の実績

父親の子育て推進（事業番号 25）

夫婦で子育てする意識の啓発を目的とした事業「お父さんと一緒に遊ぼうよ」を実施し、父親が子どもと一緒に遊ぶ体験や、父親同士の交流の場を提供した。また、「子育てにかかわりたいパパのためのしおり」を配布し、意識啓発を行った。

主要課題Ⅱ 共につくりだす — あらゆる場への男女共同参画 — （42事業）

家庭・地域・職場等あらゆる分野でいきいきと活動していくため、行政における審議会等の女性委員の割合を増やすことや、性別役割分担意識の是正を行い、組織の方針、決定の場への女性の参画を進める。また、家庭生活と職業生活の両立ができる支援策や意識改革を進めるとともに、国際理解を深めるための情報提供や、外国人へのコミュニケーション支援を図る。

担当課評価

年度	1 進んだ		2 現状維持		3 まったく進んでいない (後退した)		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	26	61.9%	16	38.1%	0	0.0%	42	100%
24年度	26	60.5%	17	39.5%	0	0.0%	43	100%
25年度	27	64.3%	15	35.7%	0	0.0%	42	100%

男女共同参画課による評価

年度	A 積極的な推進が見られた		B 現状維持（具体的な取組を行った）		C 取り組み方が十分でない		D・E・F 未実施・休止・廃止		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	30	69.8%	12	27.9%	0	0.0%	1	2.3%	43	100%
24年度	27	62.8%	16	37.2%	0	0.0%	0	0.0%	43	100%
25年度	27	64.3%	15	35.7%	0	0.0%	0	0.0%	42	100%

① 政策・方針決定の場への男女共同参画

(ア) 目的

- ・政策、方針決定の場への女性の参画を進めるため、女性のいない審議会等をなくし、女性委員の割合を高める。また、市民登用の機会均等を図るため、審議会等の公募委員の割合を高める。
- ・男女共同参画推進及び指導者等育成のための学習機会を充実させるとともに、女性の交流の機会を充実させ、ネットワークの形成を支援する。

(イ) 主な事業の実績

審議会等における女性委員比率目標達成（事業番号 26）

女性委員の登用率は 33.0%で、前年に比べ 1.2 ポイント上昇した。

審議会・委員会等委員における公募委員登用機会均等（事業番号 27）

公募委員の登用率は 9.3%で、前年に比べ 0.5 ポイント上昇した。

② 地域での男女共同参画

(ア) 目的

- ・男女が共同して地域づくりへ参画する意識づくりを行う。また、市民活動団体、ボランティア団体への支援や育成を行う。
- ・地域における多様な主体による身近な活動を支援し、実践的に男女共同参画を推進する。

(イ) 主な事業の実績

自治会の支援・育成（事業番号 30）

自治会活動事業への補助金交付による支援のほか、意思決定の場に性別や年齢等を問わず様々な人が参画することの重要性を市 HP に掲載し、市民の積極的な地域活動への参画が促進されるよう意識啓発に努めた。

自主防災組織創設・育成事業（事業番号 31）

新規結成組織等への補助金交付による支援のほか、自主防災組織連絡協議会主催の会議「女性の目線からの今後の防災活動に対してのご意見拝聴会」の開催にあたり、会場の提供等、自主防災組織の自主的な活動の支援に努めた。（出席者：女性会長 9 名、男性会長 2 名、総合防災課職員 2 名）

防災意識の普及・啓発（事業番号 32）

災害時に役立つ知識や行動力を身に付けるため、市民を対象に「身近な防災対策」をテーマにまちづくりふれあい講座を実施した。また、自治会や市内事業所等に対し講演会を開催し、防災意識の啓発を行った。（まちづくりふれあい講座：1 回、講演会：23 回）

地域子育て支援ネットワークの構築（事業番号 42）

「子育てしやすいまちづくり」の実現に向け、各子育て支援センター、子ども支援センターにおいて地域情報交換会を開催し、地域の特性に合わせた子育て支援の推進及び市民や関係機関とのネットワーク化を図った。（開催回数：9 回、参加者 198 人）

③ 国際社会への理解と交流の推進

(ア) 目的

- ・平和に向けた国際理解を深めるため、国際化について学ぶ機会の充実を図る。また、外国人に対するコミュニケーション支援の充実を努める。
- ・国際交流機会の充実を図り、事業を行う人材の育成に努める。

(イ) 主な事業の実績

外国人に対するコミュニケーション支援（事業番号 49◆1）

多文化交流センターにおいて在住外国人に対し、相談業務や情報提供を行った。地域生活で生じる様々な問題についての相談を 3 か国語（ポルトガル語、スペイン語、英語）で受け付けている。平成 25 年度は同センターの案内カードを庁内窓口等に備え付け、周知に努めた結果、相談件数は前年より 249 件増加し、1,101 件となった。

主要課題Ⅲ 自分らしく生きる — ワーク・ライフ・バランスの推進 — (50事業)

「女だから」「男だから」という固定的な考え方にとらわれず、多様な働き方・生き方を選択できるような環境整備を行い、生涯にわたる学習機会の充実を図る。

担当課評価

評価 年度	1 進んだ		2 現状維持		3 まったく進んでいない (後退した)		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	23	43.4%	30	56.6%	0	0.0%	53	100%
24年度	21	39.6%	32	60.4%	0	0.0%	53	100%
25年度	22	44.0%	28	56.0%	0	0.0%	50	100%

男女共同参画課による評価

評価 年度	A 積極的な推進が 見られた		B 現状維持(具体的な 取組を行った)		C 取り組み方が十分 でない		D・E・F 未実施・休止・ 廃止		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	26	49.1%	27	50.9%	0	0.0%	0	0.0%	53	100%
24年度	24	45.3%	29	54.7%	0	0.0%	0	0.0%	53	100%
25年度	22	44.0%	28	56.0%	0	0.0%	0	0.0%	50	100%

① 働く場における男女共同参画

(ア) 目的

- ・職場における男女共同参画を推進するための意識啓発を行い、相談や情報提供の機会の充実を図る。
- ・個々の能力と志向に応じて仕事ができるよう就業の機会拡充のための啓発を行う。
- ・仕事と生活を両立し、多様な働き方ができるよう育児休業制度等の周知、労働時間短縮の啓発を行う。また、妊娠、出産、育児が仕事上の差別とならないよう母性保護に関する啓発を行う。

(イ) 主な事業の実績

女性の就業対策の推進(事業番号66)

結婚や出産を機に職を離れた女性を対象に、再就職に必要な技術を習得するためのセミナーを開催し、就業の支援を行った。

② 家庭における男女共同参画

(ア) 目的

- ・家庭への男性の参加を促進するための意識づくりを行い、家事等を身につけることができるよう学習機会の充実を図る。
- ・介護への男女共同参画の意識づくりや学習機会の充実を図る。

(イ) 主な事業の実績

男性のための料理教室（事業番号 72）

男性が家事等を身に付けることができるよう、男性のための料理教室を各公民館で開催し、家庭における男女共同参画の意識づくりに努めた。（開催回数：16回、参加人数：185人）

③ 多様な生き方を選ぶための条件整備

(ア) 目的

- ・生涯にわたって学び続けるための学習機会や内容の充実を図る。
- ・一人一人が生きがいを持って生活できるよう、地域活動への参加の促進や学習機会の提供を行う。
- ・男性が家庭や地域における役割を十分に果たせるような環境整備や日常生活支援を行うとともに、男性の参画が少ない分野への参画支援を行う。

(イ) 主な事業の実績

子ども連れでいける施設の整備・活用（事業番号 78◆1）

子育て中の親が学習するための場に子どもを連れての参加を容易にするため、地域のボランティアの協力で一時保育を行い、保護者の学習機会の充実を図った。

主要課題Ⅳ 健やかに暮らす — いきいきと暮らすための健康と福祉の増進 — （77事業）

一人一人が自分の健康に関心を持ち、いきいきとした生活を送ることができるよう、健康に関する活動を支援する。また、生活の自立を支援する福祉を充実させ、それぞれの状況やライフステージに応じた適切な支援を行う。

担当課評価

評価 年度	1 進んだ		2 現状維持		3 まったく進んでいない (後退した)		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	33	42.9%	44	57.1%	0	0.0%	77	100%
24年度	29	37.7%	48	62.3%	0	0.0%	77	100%
25年度	20	26.0%	56	72.7%	1	1.3%	77	100%

男女共同参画課による評価

評価 年度	A 積極的な推進が 見られた		B 現状維持（具体的な 取組を行った）		C 取り組み方が十分 でない		D・E・F 未実施・休止・ 廃止		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	36	46.8%	41	53.2%	0	0.0%	0	0.0%	77	100%
24年度	30	39.0%	46	59.7%	1	1.3%	0	0.0%	77	100%
25年度	20	26.0%	55	71.4%	1	1.3%	1	1.3%	77	100%

① 生涯にわたる心と体の健康づくりの推進

(ア) 目的

- ・心と体の健康づくりを支援するため、健康診査及び健康相談等を実施する。
- ・安心して出産や子育てができるよう、思春期世代までを包括した母子保健事業の推進に努める。

(イ) 主な事業の実績

健康診査の実施（事業番号 88◆2）

年齢、性別に応じた各種がん検診を実施した。また、受診率の更なる向上を図るため、毎年実施している受診勧奨に加え、平成 25 年度は市内スーパーマーケット 11 か所に女性のがん検診の勧奨ポスター掲示とチラシ配布を行い、周知に努めた。

② 自立した生き方を支える福祉の充実

(ア) 目的

- ・安心して子育てができるよう、保育ニーズにあった事業や相談、情報提供の充実を図る。また、子育て期も積極的に社会参加できるよう、環境の整備を行う。
- ・ひとり親の家庭が安心して暮らせるよう支援する。
- ・高齢者や障害のある方の尊厳の保持に努め、自立した生活を支援するため、地域での介護力を高めるための施策の推進に努める。

(イ) 主な事業の実績

保育園事業の充実（事業番号 96◆7）

女性の就労形態の多様化に伴う一時的な預かりや疾病等による緊急時に、保育園において一時保育を実施しており、平成 25 年度の利用者は 4,005 人であった。現在、施設数は 8 か所で目標数値を達成しているが、今後も更なる福祉の充実を図る。

親学習支援事業の実施（事業番号 104）

子育て中の親同士で意見を交わしながら参加する「子育てワークショップおしゃべり広場」や、食を通じて育児力や生活力を向上させるための学習の場「みんなで食育」等、親のための学習支援事業を実施した。また、子育てのポイントやコツが書かれたリーフレットが入った「子育て応援ポケット」を 4 か月赤ちゃん広場等で積極的に活用し、情報提供を行った。

主要課題Ⅴ みんなで推進する — 推進体制の整備と協働の推進 — （15事業）

男女共同参画社会の実現に向けた取組を効果的に推進するため、計画の進行管理を強化し、市民や関係機関との連携・協働の推進体制の整備を行う。

担当課評価

年度	1 進んだ		2 現状維持		3 まったく進んでいない (後退した)		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	14	93.3%	1	6.7%	0	0.0%	15	100%
24年度	14	93.3%	1	6.7%	0	0.0%	15	100%
25年度	14	93.3%	1	6.7%	0	0.0%	15	100%

男女共同参画課による評価

年度	A 積極的な推進が 見られた		B 現状維持（具体的な 取組を行った）		C 取り組み方が十分 でない		D・E・F 未実施・休止・ 廃止		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	14	93.3%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	15	100%
24年度	14	93.3%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	15	100%
25年度	14	93.3%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	15	100%

① 連携・協働体制の構築

(ア) 目的

- ・やちよ男女共同参画プラン懇話会の開催や市民対象の各種調査を行うとともに、男女共同参画センター利用団体と連携し、男女共同参画事業への市民参加の推進を図る。
- ・国、県、近隣自治体と連携を図りながら施策の取組を推進するとともに情報交換を行い、効果的な事業の実施を図る。

(イ) 主な事業の実績

市民意見導入の推進（事業番号 128）

男女共同参画施策への市民意見導入の推進を図るため、やちよ男女共同参画プラン第1期実施計画の進捗状況に対する市民代表委員の評価及び意見を各所管課にフィードバックし、課題解決及び事業の改善に努めた。

② 推進体制の強化

(ア) 目的

- ・男女共同参画センターの周知を図るとともに、他団体とのネットワーク化を推進する。
- ・庁内推進組織を設置し、組織的に施策に取り組む。
- ・やちよ男女共同参画プランの進行状況の管理及び評価を行い、市民や市職員に対し公表する。

(イ) 主な事業の実績

市職員への研修機会の提供（事業番号 135◆1）

新規採用職員を対象に男女共同参画についての研修を実施した。県及び市の取組等について説明し、市職員が率先して施策に取り組み、日頃から男女共同参画の視点を取り入れて業務にあたるよう意識啓発を行った。

主要課題Ⅰ～Ⅴ（235事業）

担当課評価

評価 年度	1 進んだ		2 現状維持		3 まったく進んでいない (後退した)		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	122	51.3%	116	48.7%	0	0.0%	238	100%
24年度	113	47.1%	126	52.5%	1	0.4%	240	100%
25年度	109	46.4%	125	53.2%	1	0.4%	235	100%

男女共同参画課による評価

評価 年度	A 積極的な推進が 見られた		B 現状維持（具体的な 取組を行った）		C 取り組み方が十分 でない		D・E・F 未実施・休止・ 廃止		計	
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
23年度	136	56.9%	102	42.7%	0	0.0%	1	0.4%	239	100%
24年度	118	49.2%	121	50.4%	1	0.4%	0	0.0%	240	100%
25年度	109	46.4%	124	52.8%	1	0.4%	1	0.4%	235	100%

担当課による評価と男女共同参画課による評価の相違について、事業番号 86◆1「スポーツ・レクリエーション事業の実施（市民体カテスト）」は、担当課による評価は「2 現状維持」であったが、参加者が非常に少なく、周知方法や実施内容の改善が必要と思われるため、男女共同参画課による評価は「C 取り組み方が十分でない」とした。

事業番号 90◆3「健康に関する知識の普及・啓発（精神障害者の家族支援教室）」は、職員体制が整わなかったため、未実施となった。

(3) 指標の進捗状況

〔資料〕 資料3 やちよ男女共同参画プラン第1期実施計画 指標一覧

やちよ男女共同参画プラン第1期実施計画においては、23 項目の指標の目標数値を設定し、推進を図っている。前年度に比べ数値が上昇した項目は 6 項目であった。また、目標数値に達成している項目は 2 項目となっている。

(4) 今後の取組

やちよ男女共同参画プラン第1期実施計画の着実な推進を図るため、今後も引き続き計画の年度ごとの進捗状況調査を実施する。また、各事業の所管課に対しヒアリングを行い、事業の詳細を把握するとともに、市職員が率先して施策に取り組むよう男女共同参画意識の向上に努める。なお、平成27年度は、同プラン第2期実施計画（平成28年度～平成32年度）の策定に向け、内容の見直しを行う。

男女共同参画社会づくりの拠点として設置されている男女共同参画センターにおいては、主催講座から立ち上がった支援団体の育成に努め、男女共同参画の推進を図る。また、男女共同参画について、より一層の意識の醸成を図るため、企業及び他課と連携した主催講座を行う。

指標については、今後も目標数値の達成に向け、引き続き推進を図っていく。

2 審議会等における女性委員・公募委員の登用状況報告

〔資料〕 資料4 八千代市審議会等における女性委員及び公募委員 登用状況集計
資料5 八千代市審議会等における女性委員及び公募委員 登用状況一覧

(1) 目的

審議会等における女性委員及び公募委員の登用状況を把握し、今後の女性委員登用推進を目指すための働きかけの基礎資料にするとともに、各課と連携して行政における男女共同参画を促進することを目的とする。

公募委員の登用率については、公募委員を増やすことにより、市民登用の機会均等及び男女双方の登用を図るとともに、女性の登用機会を増やすことにもつながることが期待できるため、公募委員の登用を推進している。

(2) 目標

① 審議会等における女性委員比率目標達成（事業番号26）

政策・方針決定の場に女性の視点や意見を積極的に反映させるため、市が設置する審議会等の女性委員の割合を目標数値に到達させることとし、すべての審議会等に女性が委員として参画することを推進する。目標数値35%（平成27年度末）。

② 審議会・委員会等委員における公募委員登用機会均等（事業番号27）

審議会等委員の選任にあたっては、可能なかぎり公募による委員の選任に努めるとともに、男女の区別なく広く市民一般の参加が推進されるよう、登用機会の均等を図る。

目標数値20%（平成27年度末）。

(3) 審議会等数・委員数（平成26年4月1日現在）

- | | | | |
|----------------|----|-------------------|-------------|
| ① 審議会等数 | 70 | 審議会等・委員総数 | 903人 |
| ② 女性のいる審議会等数 | 64 | 審議会等（91.4%）・女性委員数 | 298人（33.0%） |
| ③ 公募委員のいる審議会等数 | 30 | 審議会等（42.9%）・公募委員数 | 84人（9.3%） |

(4) 登用状況及び今後の見解

全委員数 903 人のうち女性委員は 298 人で、登用率は 33%となっており、前年の 31.8%に比べ 1.2 ポイント上昇し、概ね順調に推移している。女性委員の割合が 35%に達していない審議会等の所管課に対し、理由を調査した結果、「関係機関からの委嘱・充て職であるため」が 34 審議会等、「市民公募した際、女性の応募が少なかったため」が 7 審議会等、「専門的知識・資格を要するため」が 5 審議会等であった。(重複回答有)

公募委員については 84 人のうち女性委員は 37 人で、割合は 44%となっており、前年の 43.4%に比べ 0.6 ポイント上昇した。公募委員に占める女性委員の割合は高く、市民公募制度を取り入れることが女性委員の登用の推進に繋がるものと考えられる。また、市民の意見を取り入れる観点からも、公募委員数の増加が望まれる。

審議会等における女性委員・公募委員登用状況

(各年度 4 月 1 日現在)

年度	審議会等における登用状況												
	審議会総数					委員総数							
		女性委員のいる審議会等数		割合	公募委員のいる審議会等数		割合	女性委員		公募委員			
		委員数	割合		委員数	割合		うち女性委員	割合				
23	67	62	92.5%	26	38.8%	845人	259人	30.7%	73人	8.6%	28人	38.4%	
24	69	54	78.3%	19	27.5%	886人	277人	31.3%	83人	9.4%	37人	44.6%	
25	68	60	88.2%	26	38.2%	859人	273人	31.8%	76人	8.8%	33人	43.4%	
26	70	64	91.4%	30	42.9%	903人	298人	33.0%	84人	9.3%	37人	44.0%	
27													